

IDS (International Dental Show) 2025 訪問レポート

世界最大デンタルショーIDSが2025年3月25～29日までドイツのケルンにて開催されました。会場面積は18万㎡と東京ドームのグランド約14個分の非常に大きな会場で、出展者は60カ国から2,000社以上、入場者は135,000名と非常に多くの来場者で賑わうデンタルショーでした。出展者のうち約77%が海外出展者と、まさに「International」なデンタルショーです。過去最大の来場者数はコロナ前2019年の160,000名(17万㎡)でしたが、2021年はコロナの影響がまだ強く23,000名(11.5万㎡)、2023年はコロナの影響が弱まり120,000名、今回は先日の中部日本デンタルショーの約14倍の来場者数と、世界最大のデンタルショーの規模がわかります。



2年に1度開催されるIDSは「これからの2年のトレンドを読める場所」と言われるほど、注目されるデンタルショーで、各メーカーもIDSに合わせて多くの新製品等を発表します。

今回のIDSは、各社の進化した口腔内スキャナー、CAD/CAM、3Dプリンター及びその材料や、AIを活用した画像診断補助サービス、クラウドを活用した情報一元管理システム、新しいエアポリッシャーシステムや、洗浄・注油・滅菌を効率よくできる器械など、様々な便利な製品が登場し、歯科の未来を感じ取れる展示でした。

下記、面白みを感じたブースや製品等を紹介させていただきます。

海外最新展示会のレポートなので、日本の薬事承認取得や発売時期が未定の製品や、日本に入ってくるか事体がわからない製品も多くございます。日本の方のご購入は、日本の薬事承認取得後、及び日本発売後となります点、ご了承ください。面白みを感じた製品や、気になる製品等ございましたらシラネ営業マンへお気軽にお声掛けください。わかる範囲での情報をお伝えすると共に日本市場への発売開始の際には一早く情報をお届けできるようにしたいと考えます。

①	デンツプライシロナ	P 3
②	カボ	P 4
③	GC	P 5
④	ナカニシ	P 6
⑤	3M	P 7
⑥	DURR	P 8
⑦	プランメカ	P 9
Break Time 1		
	ビール天国？ ビール指数首位の国 ドイツ	P10
⑧	松風	P11
⑨	タカラ	P12
⑩	モリタ / トクヤマ	P13
⑪	ヤマキン / ヨシダ	P14
⑫	日本パビリオン(YDM、ナルコームほか)	P15
⑬	DCI Edge/Refine	P16
⑭	ケアストリーム/ウルトラデント	P17
Break Time 2		
	デジタル化も進む IDS	P18
⑮	MEDIT / 3 shape	P19
⑯	アラインテクノロジー / アマンギルバッハ	P20
⑰	ARUMS / レンフェルト	P21
⑱	スプリントレイ	P22
⑲	ミーレ / メラグ	P23
⑳	予防製品 (クラデン/Tepe)	P24
	終わりに…	P25

① デンツプライシロナ



広い IDS 会場の中でも、特に大きな注目を集めたデンツプライシロナ。

その中でも大きくアピールされたのは、新製品口腔内スキャナ『プライムスキャン2』です。プライムスキャンの「速さ、正確さ、簡単さ」の基本性能はそのままに「ワイヤレス」で利用可能になった同製品。単なるワイヤレスではなく、DS CORE クラウドプラットフォーム上で直接スキャンされるため、専用 PC 等ハードウェアは不要で、ネットに接続頂ける PC、タブレット、その他モバイル端末があればご利用頂けるクラウドネイティブなスキャナーです。Wi-Fi 環境の確認-整備は必要ですが、ネットに繋がるユニット設置のディスプレイや、iPad などでも操作可能で、ユニット間のスキャナー移動もラクラクで便利な製品に大きな注目が集まっていました。



新発表した『アグサーノ Pure』は同社フラッグシップユニット『アグサーノ』の一部機能をシンプルな手動にするなどしたリージナブルなタイプ。プライムスキャン2をメインテーブル横に設置できるフォルダー付きで展示され、この場所にスキャナーがあつて、チェアのモニターでスキャン画像を見ることができれば、ユニット周りもスッキリし良さそうです。

また、新製品で注目を集めたのは、同社の歯科専用 MRI です。医科では脳の確認、がん診断、ほか全身の様々な検査に用いられていますが、柔組織の診断に強みがある MRI。炎症もわかり根尖病巣の発見や、歯周病の骨損失の早期検出、顎関節診断ほか、様々な面で役立つほか、X 線を使用しないので、子供・若年層・妊婦の方にも使いやすい点もメリットです。導入するドイツの病院も出てきたそうですが、ざっくりの値段を聞いてみると約1百万€(円換算1億6千万円)とビックリ価格。普及にはまだ時間がかかりそうですが、より良い診断の探索も面白みを感じます。ほか、『プライムプリント』のプリント材料には、デンチャー材料を含め、新材料が大幅に増え、便利になるなど、同社の提供するデジタルデンティストリーの今後にも注目です。

② カボ



続いては、ドイツ両雄のもう一角のカボブースです。カボは、E 80、E70、uniQa と主要ユニットが大型リニューアルで大きな注目を集めていました。メインテーブルの側面全体が大きな液晶タッチパネルとなり、視覚的にもカッコよく、必要なウィンドウを2つ横に並べて表示することもできるので、操作性も UP しました。また、無影灯も刷新し、患者さんの口腔内だけに光をフォーカスしやすくなった他、非接触センサーでの ON/OFF ほか、CR モード、OFF 時には患者さんの気持ちをリラックスさせる効果がある青色の優しい光を数秒表示など、面白みのある無影灯になりました。ほか、今まで外注だったスケーラーも、カボ純正スケーラーとして新開発し搭載するほか、ショルダー部をカット・肘部分を拡張し、厚みを薄くした新形状バックレスト、背版側面下部分にはユニット状態（例えば消毒中など）を色で表すオシャレなライトも新搭載するなど、様々な点でリニューアルした同社ユニット製品群に大きな注目が集まっていました。



また、『uniQa』の妹分の『amiQa』も新しく発表しました。消毒機能は外付けになり、液晶サイズは通常サイズ（新しい E80、70、uniQa の半分）などの違いはありますが、スタイリッシュで人気の『uniQa』にリーズナブルな妹分が登場しこちらも大きな注目を集めていました。

その他、奥の臼歯へアクセスしやすいアングルの新ハンドピースや、新しいデンタル撮影用照射器など様々な新製品を発表したカボ。新製品の日本展開有無や、いつ頃日本に入ってくるかは未定ですが、楽しみな新製品が登場いたしました。

③ GC



グローバル企業の GC は大規模な展示ブース。大きな液晶画面を活用してのスピーカーコーナーでは 40 名もの KOL による 49 講演、歯科医師向けのハンズオンは 3 エリアで 81 セッション、歯科技工士向けは 2 エリアで 47 セッションもの講演/体験機会を用意し、モノを作るだけでなく、コトや実践を通して、様々なことを学んで頂ける「場」を提供しました。

そんな GC ブースでの注目新製品は『イニシャル ジルコニアディスク』です。4Y/5Y を混合したグラデーションのマルチレイヤーで色や適合性が良いと評判のジルコニアは、多くの方が同イニシャルの『ジルコニアカラーリングリキッド』と一緒にご覧になっていました。



また、注目を浴びたのは、「プリント→洗浄→光重合」の流れを自動的に 1 台で行ってくれる新型 3D プリンターです。3D プリンターは様々な製品を作成でき便利ですが、プリント後に洗浄して、光重合して、と手間に感じることも多い製品です。そんな手間に感じることを、機械が自動的に行ってくれる 3D プリンターの発表で、とても多くの来場者が面白い 3D プリンターができたなど注目を集めていました。

その他にも、別途 GC は DG Shape、Roland DG と組んで、新しいデンチャー用のインクジェットタイプの 3D プリンターを開発中と、参考出品で面白い製品を展示していました。インクジェットタイプでは複数インクを一度に利用できるのも、「ベース用」「ティース用」「水で溶けるサポート材用」の材料を一気にプリントするシステム、製品化すれば、プリント後にベース材とティース材を接着する必要もなく、一体化した製品からサポート材を水で流すだけでデンチャーができてしまい、人による作業時間を圧倒的に減らせます。単なる製品づくりに留まらず、必要な教育や、未来への投資など、今後の展開も楽しみになる GC ブースでした。

④ ナカニシ


世界トップクラスの歯科用ハンドピースメーカーのナカニシで注目を浴びた新製品は、『バリオスコンビプロ2』です。お客様からの要望も多かった暖かいお湯が使えるようになり知覚過敏リスクも減少するほか、ペリオパウダー用のペリオハンドピースに歯肉縁上用の歯面を正確に狙い撃ちできる新チップ『ジェットノズル』も用意されました。また、液晶モニターは「エアポリッシャー」「超音波スケーラー」と利用しているハンドピース関連情報のみをシンプルに表示し、より直感的にわかりやすい使用感となり、デザインも更にオシャレになりました。

5円とご縁をかけた「GOEN チャレンジ」として、日本の5円玉に塗布した汚れを落とすイベントコーナーも設置し、多くの方がバリオスコンビプロ2の体験をしていました。私自身も体験しましたが、汚れを素早く落とせるので、歯科衛生士さんのメンテナンス時間を短縮できるというのは「なるほど」と思える体験でした。



また、新製品として注目を集めたのは『S-Max 94L』です。『Ti-Max 95L』はナカニシの大人気チタン製5倍速コントラアングルですが、ステンレス製の4倍速コントラアングルといった選択肢が登場しました。4倍速の回転速度は5倍速よりも落ちるものの、その分トルクはUPし、なめらかな形成をしやすいとのこと。ぜひ、日本市場で販売開始となったらお試しでご利用頂きたい一品です。ほかヘッド角度が93度の『Ti-Max 95L』に対し100度の『Ti-Max Z99L』も新登場致しました。臼歯へのアクセスについては、100度の方がしやすいとのこと、ナカニシのコントラアングルに新たな選択肢が2つも生まれ、多くの方が注目をしていました。

1本槍の技術でダントツの製品競争力を高める同社は、得意分野を自社開発で研ぎ澄ます一方、得意分野で稼いだ資金を元に、2023年8月にはDCI Edge、2023年11月にはRefineと周辺分野でシナジーが起きそうな企業買収も連続で行い、成長速度を高めるナカニシの今後にも注目です。

(DCI Edge、Refine については後述記事をご覧ください)

⑤ ソルベントム (元 3M)



2024 年 4 月に 3M のヘルスケア部門が分離上場して登場したソルベントムは、創傷ケア、口腔ケア、ヘルスケア IT、バイオ医薬品向け精製プロセスを中心に、売上高も 2024/12 期で 8,254 百万ドル（1 兆 2,381 億円）と世界規模の総合ヘルスケア・テクノロジー企業となりました。

コングロマリット・ディスカウント解消を目指しての分離上場で、3M は分社後もソルベントムの株式を一部保有しており、大規模な会社の基礎研究やコアテクノロジー技術を活かしながら、高性能な製品を多く歯科分野にも送り出す仕組みは変わりません。また、収益性が他部門よりも高かったヘルスケア部門は自身で稼いだお金を自分自身に投資しやすいとソルベントムとっても有益な分離上場です。



新たなスタートを切った同社で、注目を浴びたのは、新製品『フィルテックイージーマッチ ユニバーサルコンポジットレジン』です。「ブライト・ナチュラル・ウォーム」と 3 シェードのみで VITA16 色をカバーし、1 シェードの厚みによって遮断性を表現するためブロッカーやオパークシェードも不要、賦形性にも優れた同製品に大きな注目が集まっていました。

また、新製品として『クリンプロクリアフッ素トリートメント』を発表。「より少ない量で多くの効果を発揮するフッ化物治療」として、新しい透明なウォーターベースのフッ素塗布材で、最短 15 分の接触時間で効果を発揮と、治療後の飲食を待つ時間も短縮され、患者さんにも優しいフッ化物塗布材です。また、ロジンや一般的アレルゲン物質を含まない中性 pH でやさしく、術者も塗布しやすく、患者さんにも不快感が少ない新しい選択肢が生まれました。

「解決(Solving)」と「勢い(Momentuem)」という 2 つの言葉に由来する「ソルベントム」の今後にも注目です。

⑥ DURR


日本ではビスタスキャンやビスタカム、衛生製品で有名なドイツが本社のデュール社。ドイツ及び世界では、CT・レントゲン、コンプレッサー、バキュームなど、様々な多くの製品展開をしており、世界で社員数も 1,000 人以上の大企業です。

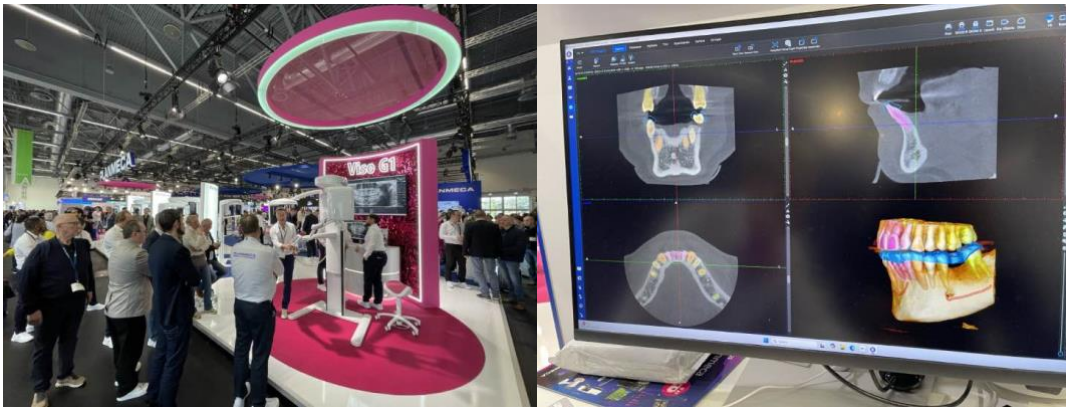
そんな同社ブースで注目を浴びたのは新型パウダーメンテナンス機器『MyLunos Duo』です。メクトロン OEM 製品ながら、エンドモードを無くし、シンプルでわかりやすい操作盤になった他、パウダーメンテナンス用ハンドピースは LUNOS オリジナル製品で、同社のトレハロース（キノコ類等によく含まれる糖質で食品認可取得済み）を主原料とした LUNOS プロフィーパウダーの『ジェントルクリーン(65 μ m)』『ペリオコンビ(30 μ m)』と 2 種類のパウダーを効率よくご利用頂けます。



また、注目を集めていたのは同社超音波スケーラーの『ベクター』です。ピエゾ式ながらも刃が「上下」に 15-35 μ m 程度と細かく優しく振動し、歯の側面周囲をゆっくり沿わせながら回っていくイメージで「低侵襲・低痛」のスケーリングが行えます。一般的な横振動のピエゾ式は、歯の方向を間違えると歯面を刃で叩いてしまうことになり、知覚過敏の一つの原因となりえるそうですが、上下振動でテクニカルセンシビティが少くない本製品は、ハイドロキシアパタイトとリン酸カルシウムを含んだ『ベクター フルイド ポリッシュ』という液体を利用しながらスケーリングを行うので、スケーリング後に再石灰化を促す効果もあると、もしも日本での発売となったら面白いと感じる製品も展示されていました。

ほか、「男の子」には堪らない「メカ感」たっぷりの同社コンプレッサーは、2 エンジンを搭載しており、一つのエンジンが停止しても、もう一つは動くため、「もしも」の際にも安心な機構。同社サクションモーターは、内部に 2 モーターを有し、稼働ユニットの必要な出力に合わせて、必要な出力を行うため、エコで電気代も削減でき、サクションモーター追加時などに人気です。様々な分野の製品が注目を集める総合歯科機器メーカー Durr の今後の展開も気になります。

⑦ プランメカ



プランメカブースで大きな注目を集めていたのは、同社フラッグシップ CT『VISO シリーズ』の新機種『VISO G1』です。同社 VISO は「CT」のために「1」から開発された製品で画像の鮮明さは秀逸で、大人気な製品ですが FOV は小さめでリーズナブルな『VISO G1』の登場で多くの方が注目してご覧になっていました。

また、プランメカが開発した総合操作型歯科用プラットフォーム『ロメキシス』は、全ての 2D、3D 画像や CAD/CAM 症例を同じデータベースに格納し、さまざまな種類のデータの取得、閲覧、処理が可能です。JPEG、DICOM、STL を含む業界標準フォーマットの 2D、3D イメージのインポートとエクスポートのほか、サードパーティソフトウェアにデータを直接転送でき、100 を超えるソフトウェアオプションにより、業務管理統合を簡単に実行できます。

そんな便利なロメキシスは AI の活用で進化し、1 本 1 本の歯牙や、骨、下顎神経など、様々な部位をセグメンテーションし、下顎管の「位置案」画像も楽々わかり、また、パノラマ画像ではう蝕可能性が高い場所などがカラーで表示されるシステムなど、ソフトウェアもどんどん進化しています。



また、VR を活用して、3D で撮影した顎骨内を自由に手で掴むように立体的に見ながら、インプラント埋入の練習シュミレーションをできるシステムも展示し、大学などで学ぶ際にあると便利そうなシステムでした。ほか、まだ参考出品の開発途上品ですが、无影灯もなくとてもコンパクトで、カボ同様に大きなテーブルディスプレイでレントゲン写真の確認も可能なユニット（无影灯は天釣りなどでもイイんじゃない？と変わった発想）や、ワイヤレス口腔内スキャナなどを出品しました。カボを買収し、カボブランドでのプランメカ CT 販売など、様々な面でシナジーがでつつある、プランメカ-カボグループの今後も楽しみです。

Break Time 1

ビール天国？ ビール指数首位の国 ドイツ



2025年1月27日日本経済新聞記事で「各国の1日あたりの平均収入で何本の缶ビールが買えるかという「ビール指数」で16カ国の国・地域で首位にランキングされたドイツ。

350mlの缶ビール換算で、1日あたりの平均収入で日本は47本のビールが購入できるのに対し、ドイツは210本も購入できます（日本の4.5倍）。インフレが続いたドイツですが、ビールは今でも飲料水と同程度か場合によってはより安く売られています。

そんなビール天国のドイツでは、ビール大国ドイツには様々な種類がありますが、大別するとラガーとエールに分かれます。ラガーは独語で「貯蔵庫」の意味で、名が示すように長時間の貯蔵でじっくり熟成したビールです（色の薄いピルスナー、琥珀（こはく）色のデュンケル、黒いシュバルツなどがラガーの代表）。

一方、エールは短期間の発酵によって生み出された芳醇（ほうじゅん）でフルーティーな味わいが特長です。エールは、原材料の50%を小麦が占める白ビールのヴァイツェン、IDS会場のあるケルンのケルシュや、日本人が多く住みケルンからも近いデュッセルドルフでつくられるアルトなどがあります。街のキオスク（売店）には、写真の枠に収まりくらないくらいの種類ビールが並び、どの種類のビールにしようか迷うくらいです。



IDS会場では夕方になると、各メーカーブースで、様々なビールも振る舞われ、お祭りのようになります。ドイツ・IDSの訪問で、様々なドイツビールを楽しんでみては如何でしょうか？

⑧ 松風



松風ブースではライブデモが多く開催され、多くの方が足を止めてご覧になっていました。同社『セラマージュ』シリーズは、セラミックスに近い審美製を備えた硬質レジンで、ドイツの硬質レジン市場シェア No. 1 とドイツでも大人気の製品。

更に最近シェアを少しずつ伸ばして人気が定着しつつあるのは、同社ジルコニアディスク『松風ディスク ZR ルーセント スープラ』です。曲げ強さ 1034mpa/可視光透過率 44%のエナメル層、同 1,163mpa/40%のボディ層、同 1,454mpa/37%のサービカル層が滑らかなグラデーションになっている同製品はディスク 1 枚でインレー、ベニア、ロングブリッジなど多様な症例に対応可能で、多くの方が同製品を愛用しています。そんなスープラに 25mm/30mm のディスクが今回新登場となり、ロングのインプラント症例などにも対応しやすくなり、より便利になりました。



また、注目を集めたのは、同社人気の CR 『ビューティーフィルフロー プラス X』 から新しく出たガム色です。一部歯肉退縮されている方にも本 CR があれば、周りに合わせた CR 充填も可能と、根面う蝕など際にも活躍しそうな面白い製品。

ほか、VITA シェードガイドを合わせる際、ガイドを指すプレートが灰色など歯肉と違う色だと、目の錯覚で違う色を選んでしまいやすいところ、4 種類の歯肉の色を揃えた『ガミー V』を活用すれば、より実際の口腔内での状態を認識した状態でシェード選びが可能になります。

松風は、売上が 159 億円だった 2012 年に「長期ビジョン」として、世界の歯科医療への貢献度を高めるべく売上 500 億円を達成する「500 億円構想」を策定しました。当時の売上高の 3 倍以上もの「ムーンショット」とも感じる大きな目標でしたが、2024/3 期は 350 億円達成、2025/3 期は 383 億円を達成見込みと、着実に海外売上を伸ばすことなどで「500 億円構想」の達成に近づきつつある松風の今後の展開にも注目です。

⑨ タカラベルモント



海外でのユニット売上台数の割合が約8割とグローバル化が進んでいるタカラベルモント。英国ではトップを争うシェア、米国でも上位に位置し、ベトナム工場も稼働させ発展途上国向けの生産も拡大しています。

世界同時発売ユニットの『ベルヴィータ』は欧州では『ユーラス（東風の神）』という名前でも売っていますが、シリーズでS1～S8と、ドイツ企業にもよくある「英語+数字」のシリーズ表記でも現地化されています。珍しい！と思ったのは、レントゲン照射器のビルトインタイプ(右上)です。国によっては、日本とは基準が違うため、チェアサイドでもレントゲン照射が可能とのことで、色々な国の基準があるのだなと感じました。



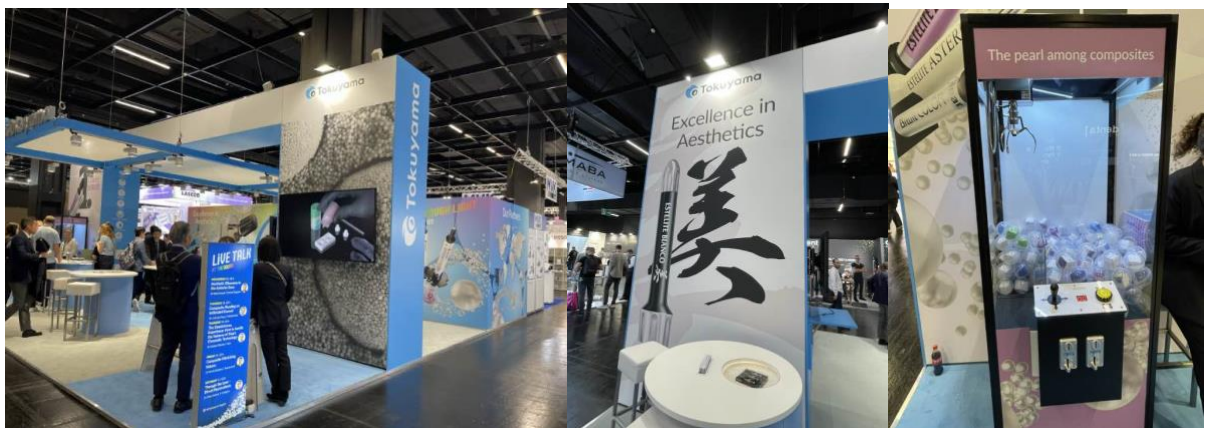
また、フランス、オランダ、イタリアなど欧州で人気のロッドタイプの左上ライムグリーンのユニットで、日本では当たり前についている〇〇がないことお気づきでしょうか？実は、ファンネル（スピットン）がないユニットも国によっては当たり前で、人気があるとのこと。様々な国のそれぞれの市場性に合わせ、ユニットもそれぞれカスタマイズして売りに出していることなどが、ユニットでの海外販売比率約8割といった強さに繋がっているのだなと感じました。

また、今回、新製品として出品したのは、大学等教育機関向けユニット『Belmont EG-01』です。スッキリ省スペースで学びやすい教育用ユニットは今後シェアの高いイギリス市場から広めていく予定とのこと。教育現場での利用頻度が増えれば更にシェアアップも期待できそうです。グローバルに活躍するタカラベルモントの今後も楽しみになる展示でした。

⑩ モリタ / トクヤマ



モリタブースで注目を集めたのは、参考出品の口腔内スキャナ『Accuios』です。「Accuracy（正確、精度の高い）」と「IOS」の造語でもある新製品は、丸みを帯びたヘッド先端で最後臼歯など奥歯も撮影しやすく、また、曇り止め機能も搭載しており、興味深い製品です。また、こちらも参考出品で、発売時期等は未定ですが3DのAI分析ソフトでのセグメンテーションなど診療補助機能各種も出していました（参考出品の製品については、日本のモリタ社員様に販売有無や、販売予定時期について聞かれてもわからないので、販売については正式な発表も待ってほしいとのこと）。その他にも、日本でも大人気な同社エンドソリューションの『トライオート ZX2+』、『ルート ZX mini』や、レーザーの『AdvErL EVO』、チェアサイドで接着前処理に不可欠なサンドブラストをできる『アドプレップ』など様々な製品が注目を集めるモリタブースでした。



トクヤマでオムニクロマなど人気製品と共に注目を集めたのは、同社新製品の『ESTELITE BIANCO 美』という W1～W4 とホワイトシェードに特化したコンポジットレジンです。「美」とオリエンタルな漢字も製品名/パッケージに取り入れ、現地の方の評判も上々とのこと。また、面白みがある展示は UFO キャッチャーで各種お試し製品が入ったカプセルをとってもらい、そのお試し品のデモを実際にするという取り組み。「遊び心」のある展示が多いのも IDS の魅力で、様々な方が UFO キャッチャーを楽しんだ後、実際にデモで説明を受けていました。

⑪ YAMAKIN / ヨシダ



YAMAKIN ブースで注目を集めたのは、Bio-emulation やダイレクトボンディングで著名な青島徹児先生の LIVE デモを、ドイツ シュッツガルト在住の歯科医師で遠藤航選手のマウスピース製作などでも有名な宮川順充先生が通訳を行うという超豪華なダイレクトボンディングセミナーです（全 10 回開催）。ヤマキン人気ユニシェードコンポジットレジジン『A-UNO』の新色ダークをベースに引いて、VITA16 シェードに 1 色で対応する『A-UNO ベーシック』を築成し、新色ホワイトやレジジン用表面滑沢キャラクタライズ材の『Nule Coat』を用いてキャラクタライズする方法を、多くの方が注目してご覧になっていました。

また、同 CR 築成/キャラクタライズには、青島先生が監修され、ヨシダが販売するダイレクトボンディング用インスツルメント『DENTCRAFT TSURUGI』が利用されていましたが、宮本武蔵の五輪書で有名な「地・水・火・風・空」と、1 本 1 本のインスツルメントに実際のダイレクトボンディング時の使いやすさやコダワリを紹介しながらのデモで、5 本揃えると、ダイレクトボンディングもしやすそうだなと納得の内容でした。同デモは、デジタルマイクロスコープ『NEXT VISON』も活用して行われ、各種材料製品と共に、その使い勝手の良さも注目を浴びていました。



欧州でよく売れている製品を聞くと、たまたま英国の著名な KOL の歯科技工士の方がハイブリッド型歯冠用硬質レジジン『ツイニー』を気に入ってくれ、そこから同製品が英国を中心によく売れているとのこと。また、同英国 KOL の歯科技工士様から「こんな製品があったらいいな」とアイデアから生まれたのが『Nule Coat』で、その使い勝手の良さから、『A-UNO』と共にジワジワと広がっているとのことでした。また、今回の展示で現地の方から注目度が高かったのは、グラスファイバー強化型で 800Mpa のある『KZR-CAD Fiber Block Frame』です。ヨシダ・ヤマキンの頭文字をとった「Y-Y アライアンス」からの今後の様々な情報発信も楽しみです。

⑫ 日本パビリオン



Japan クオリティーを発信する日本パビリオン。YDM は海外では矯正用プライヤー各種がよく売れているとのことでしたが、今回はそれに「+α」としてガッタパーチャー除去に便利な『GP Remover Spear』を紹介して再根管治療でしっかりと GP 除去するのに便利そうだなと現地の方が多く足を止めてご覧になっていました。

また、同じく、海外市場では矯正用プライヤー各種がよく売れているというタスクからは、「+α」の製品として、クラウンリムーバーや、テンポラリークラウンリムーバーを紹介していました。テンポラリークラウンリムーバーは隣在歯がある通常ケースで利用するショートや、ないケースで利用できるロングやシリコン付など、様々なタイプが用意されており、実際に、「モノ」を見ながら説明がないと理解しにくいインスツルメント各種の説明も面白いものがありました。



ナルコムからは、日本では昔から販売しているフッ素イオン導入装置『パイオキュアー』を改めて海外向けにアピールしていました。フッ素は不安定な元素のため常に他元素と結合していますが、同製品はフッ化ナトリウムを電気分解で一時的にイオン化し、また、人体(歯)を一時的にプラス帯電させることで、マイナスイオンのフッ素イオン (F-) を歯に取り込みやすくするという製品。う蝕予防に効果を発揮すると共に、フッ素の細菌繁殖抑制作用により根管治療でもご利用頂ける本製品は、改めてのアピールで大きな注目を浴びていました。

ミクロンで、海外でよく売れているモノを聞くと、圧倒的に『クイックジェット M』がよく売れているとのこと。パウダーメンテにより短時間で歯面の汚れを取り除けるほか、矯正器具周辺のクリーニングが難しい部位や、歯周炎等炎症があるケースでも安心してご利用頂けます。また、亀水化学で注目を集めたのは、前回 IDS で初発表した『デンチャーソフト EX』です。1～3ヶ月ほど適度に柔らかい状態が続く新感覚のティッシュコンデショナーで、当社-亀水でのプロパー紹介時の導入率が驚異の8割も占める「しっかり聞くと使いたくなる製品」です。様々な Made in Japan 製品を紹介するジャパンパビリオン各社の海外活動も聞くと面白いです。

⑬ DCI Edge / Refine



1983年創業のDCI社は米国のユニット部品メーカーとしてシェア No.1 (同社 HP には世界シェアも No.1 記載) で、他社ユニットの OEM 生産などもしていましたが、2016年に『DCI Edge』とオリジナルブランドの歯科用ユニットを開発し、わずか数年で米国シェア No.2、年間8千台から1万台ものユニットを販売する会社へ急成長を遂げています。そんな同社へナカニシは、2020年にナカニシが33%を出資し、DCIが統合型NSK NLZE 電動モーターを発売。2023年8月にはナカニシが100%出資で完全子会社化しました。

米国のDSOや個人開業医に人気のDCI Edged製品は、右利きでも左利きでも利用できるユニットや、スピットンをつけないタイプのユニットが米国でよく売れているとのこと。また、エアをつかった軽いマッサージのようなリラックス効果があるユニットも売れているとのことでした。米国市場ではタービンでの形成が主体ですが、徐々に伸びているマイクロモーターも含めNSKのDNAが組み込まれ、更に魅力を高めるDCI Edgeの、今後の展開も楽しみです。



2017年に中国の桂林で設立されたRefineは、2023年11月にナカニシが上海会社を通じて同社株式を100%取得し、孫会社化しました。Refineはオーラルハイジーン機器や根管治療機器等を自社で開発・製造・販売して、競争の激しい中国市場で、国内販売代理店600社以上を通して着実に伸びてきた会社です。

「ナカニシに買収されて、何か変わったことや良かったことはある？」と聞いてみたところ、第一声は「週休2日制になってよかった(笑)」と話した上で、イツジョークと言いながら、資本を投下してくれ工場/オフィスは3倍の規模になりつつあるとのこと。また、技術も提供してくれ、光重合器など新しい製品群も増えているとのことでした。同社がすごいと感じたのは、その製品群の幅の広さで、先進国/中進国/後進国と国毎にミートする価格帯の製品を揃え、今回の展示でも超音波スケーラーは5種類、光重合器は7種類と幅広い価格帯製品を展示しており、海外105カ国以上に輸出しているとのこと。「Refine an NSK COMPANY」とロゴにもNSKの文字が入り、ブランド力を高めた同社の今後にも注目です。

⑭ ケアストリーム / ウルトラデント



日本ではヨシダで発売されている『トロフィー』ブランドで有名なケアストリーム社は、旧イーストマンコダックのヘルスケア事業部で、本社は米国で世界中に展開する従業員 4,000 名以上の巨大企業です。同社で注目を集めたのは、新型 CT の『CS8200 3D Advance Edition』です。最初は最大φ8*9 で購入してもφ12*10→φ16*10 と臨床での必要性に応じて、FOV をオプション拡大できる同製品。将来に使うかわからないことには投資せず、必要性が出たらオプション購入できる便利さに多くの方が注目していました。また、日本のトロフィーブランド製品でも、『下顎管の自動描写』など AI を活用した様々なソリューションが展開されていますが、海外では、パノラマ画像からのう蝕可能性が高いエリアの自動検出での診断補助機能や、インプラントシミュレーションも AI 活用で便利になっているなどソフトも進化しています。ハード/ソフトを含めた同社の今後の展開にも期待が高まります。



ウルトラデントブースで注目を浴びたのは同社ホワイトニング製品群です。日本では見かけない『Go』のハーフサイズの製品などもあり、こんな製品があれば、オフィスホワイトニング後で一気に白くして気持ちやモチベーションを高めた後、ホームホワイトニングに移行する効果の高い「Dual ホワイトニング」にも使いやすそうだなと思えるサイズのパッケージ製品。

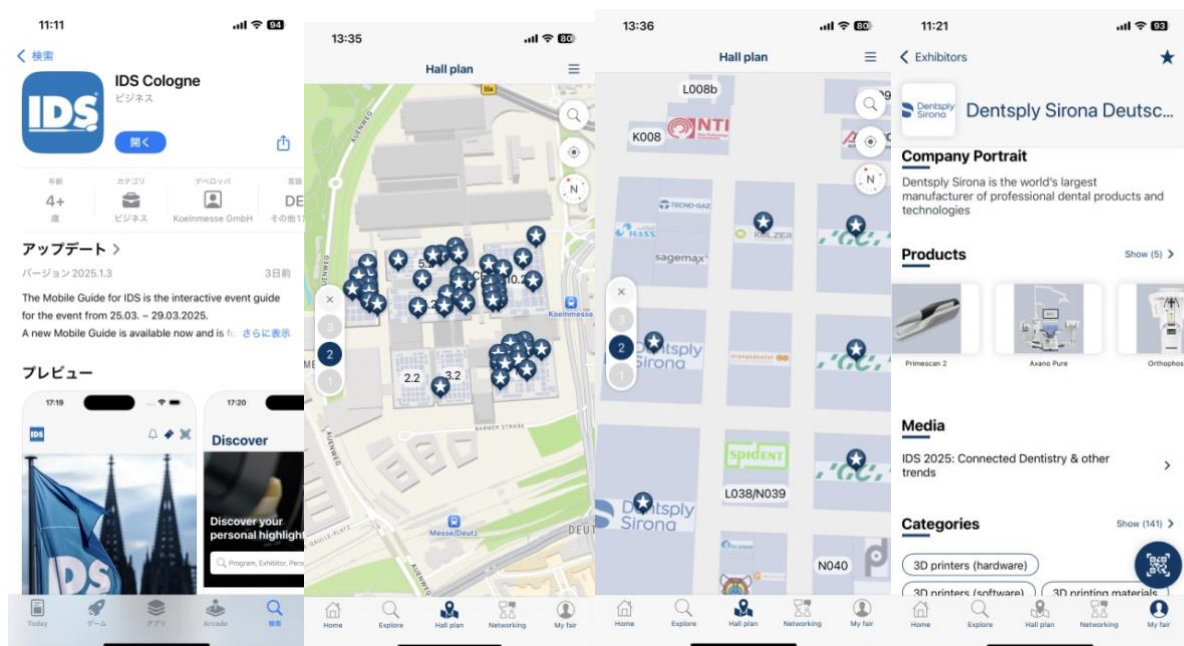
また、ウォーキングブリーチ用製品『オパールエッセンスエンド』や、ホワイトニング用歯磨剤『オパールエッセンス ホワイトニングトゥースペースト』など日本では見かけない製品もあり、多くの方がご覧になっていました。米国では「歯の美しさ」は身だしなみの一つとして、出世の必須条件とされているといった話もありますが、日本でも女性はもちろん男性も実施する人が増えてきたホワイトニング。世界的にもシェアが高い同社製品で試してみてもは如何でしょうか？

Break Time 2 デジタル化も進む IDS



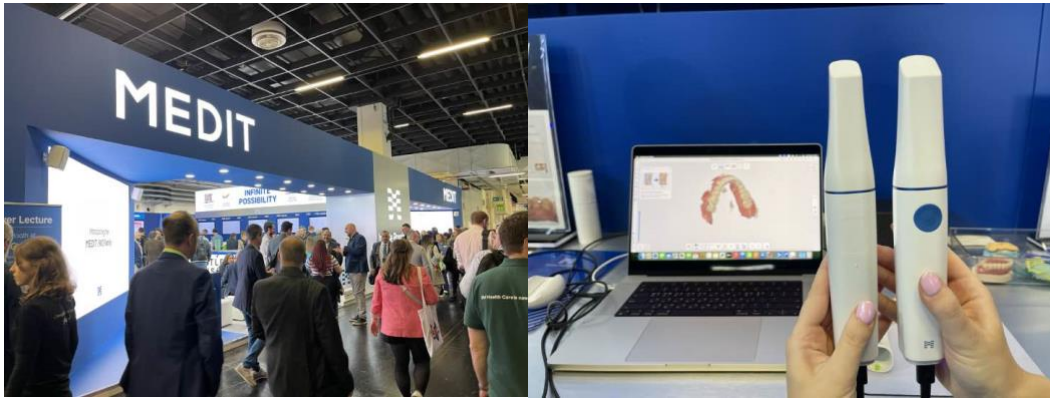
前回 100 周年で、今回は 102 年目、第 41 回目を迎えた IDS は、長い歴史があるのはもちろんのこと、デジタルなど新しい機能の活用も年々進んでいます。コロナ禍だった 2021 年大会からデジタル機能を強化し、IDS CONNECT など WEB ページで得られる情報も多くなり、東京ドーム 14 個分にも及ぶ広い会場を効率よく見やすくなるデジタル MAP もしています。

100 周年の前回 IDS でも、IDS アプリで QR チケットや、デジタル MAP があり、事前に「お気に入り企業」を指定すると、MAP 上に星印がプロットされて、広い会場内でも自分自身がいる位置もアプリ上 GPS で確認できるため、非常に便利でしたが、今回からその MAP 上に企業ロゴも表示されるようになり、「より」使いやすく、見やすくなりました。



また、企業によって活用している企業、そうでない企業がありますが、IDS の HP やアプリの各企業ページ上には、注目製品やカタログなどを目立つように提示することもでき、企業にとっても、来場者にとっても、知りたい情報の探索や確認、情報展開など様々な点が効率的になります。世界最大のデンタルショーとして、デンタルショーの情報発信の「仕方」も参考になり、面白い IDS です。

⑮ MEDIT / 3shape



MEDIT は 2000 年にソウルで設立された会社ですが、特にそのスキャニングテクノロジーと、様々な利用できるソフト、価格とのバランスから、急激に世界的に成長している会社です。

MEDIT が今回新製品として発表したのは、タッチボタンの『MEDIT i900』と、ボタンが物理的な『MEDIT i900 Classic』です。本体はスリムになった上 165g と、更にコンパクトで軽量になった同製品。また、第三世代の新光学エンジンを搭載し、速度・精度も UP したほか、メタルにも強くなりました。『MEDIT i900』のタッチバンドは 360 度のどの方向からも簡単に操作でき、スキャンの開始/停止でグリップ調整も不要で更にユーザー利便性が増しました。また、先端スリーブはお口のサイズに合わせ、「S/M/L」から選べます。

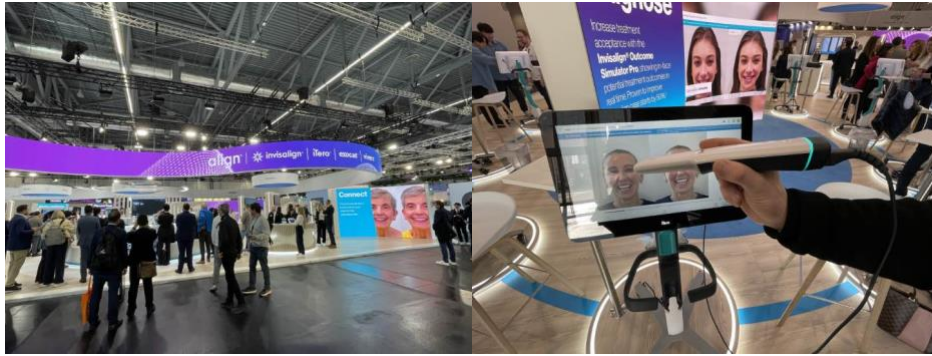
また、同社が秀逸なのは、Medit リンクでのソフト多様性で、CAD/CAM 補綴は勿論、インプラント、矯正、診断補助・コンサル、義歯など各事項にソリューションを提供しており、そのソフトの多様さに多くの方が魅了をされている MEDIT ブースでした。



2000 年にデンマークで設立された 3 Shape は 2,200 人以上の専門家を擁し、世界 100 カ国以上にサービス提供しています。そんな同社ブースで大きな注目を集めていたのは TRIOS 6 です。速度が 10% 向上すると共に、AI 補助機能により「表面う蝕、隣接面う蝕、プラーク付着、Tooth Wear、歯肉退縮」の診断補助を受けられるようになったことはとても魅力的でした。

例えば、過去の撮影データと比較分析することで、これだけ歯肉退縮が進んでいるといったこともビジュアルで簡単にわかり、術者も理解しやすくなるだけでなく、患者さんへの説明も「より」納得がいく形でできます。また、デンタルヘルスアプリで患者さんとも情報共有しやすくなるなど、同社口腔内スキャナの魅力がより高まりました。

⑩ アラインテクノロジー / アマンギルバッハ



インビザラインで有名なアラインテクノロジー社で注目を浴びたのは、同社新口腔内スキャナ『Lumina』です。従来品に比べ圧倒的にスリムになったボディに、6つのマルチアングルカメラを搭載し、従来品に対し、2倍のスキャン速度、3倍のスキャン範囲を実現と多くの方が注目してご覧になっていました。また、ソフトもUPDATEし、「術前」「簡易矯正」「しっかり矯正」と3段階でお見せし、「あくまでも擬似シュミレーションで、イメージ画像ですが、どんなふうになりたいですか?」といったコンサルも可能になりました。また、患者さんの動画を撮影しておけば、その動画に連動して、術後イメージの顔貌も動かすことができ、「より」術後をイメージした上で、コンサルティングがしやすくなった同社製品に大きな注目が集まっていました。



オーストリアの『アマンギルバッハ』は、工業会向け CAD/CAM を制作していたアマン社と、咬合器メーカーのギルバッハ社が合併して誕生した会社です。同社ミリングマシンは、前回の中部日本デンタルショーでも発表があったように、新ソフトで、MEDIT、3Shape、Dentsply Sirona、iTero といった様々な口腔なスキャナとシームレスに連携できる他、設計もチェアサイド簡便方式や、ラボサイド向きの詳細な方式、チェアサイド簡便方式に一部の作業だけ詳細な設計を加える方式がテーラーメイドで選べるようになるなど、便利になりました。

また、ミリングマシンは、全て乾湿両用5軸製品でディスクも削れますが、エントリーとなった『Motion2』、液晶モニタ、RFID、内部カメラ等を足した『Motion3』、更にメタルにも強い剛性を備えた新製品『Matron core』、8枚チェンジャーも完備した『Matron』、35枚チェンジャー付『Matic』と様々な製品を選べるようになりました。また、スマホでミリングマシンのモニターリング管理ができる『Ceramill Go』や、咬合機へ簡易に3Dプリント模型をマウントできる『Artex Print & Click』など様々な新製品が注目を集めるアマンギルバッハブースでした。

⑰ ARUMS / レンフェルト



世界で売上を伸ばす韓国のミリングマシンを主に製造する会社 ARUM DENTISTRY。同社社長 LEE さんは実は、日本勤務経験もあり、日本語もペラペラの親日派で、日本ではヨシダの COEX ブランドで販売しています。そんな ARUMS で注目を浴びたのは、『ARUM Connect』というスマートフォンでミリングマシンのインカメラ状態確認、作業の進捗状況確認から、作業指示まで全てできてしまうシステム。遠隔地でも制御が自在にできます。

新製品チェアサイド4軸ミリングマシン『A1cs』は、簡単セットUPにて利用でき、インサイドカメラ付で、CAMソフトも ApexMill365 により dongle 不要で最新のものをご利用頂けます。また、ラボサイド向けも A3、A3L（7枚ディスクチェンジャー付）、A5 と新しい A シリーズで様々な新製品を公開した同社も多くの方が興味深くご覧になっていました。



1925年創業のレンフェルトは今年で100周年のアニバーサリーヤーです。そんなレンフェルトで大きな注目を浴びていたのは、同社の新型3Dプリンタ『SIMPLEX 2SX』です。「インク」ではなく「長い紐状のフィラメント」を用いてプリントする同製品は、「プリント」後の「洗浄」「光重合」といった後処理がいらず、置き場所もスマートに、シンプルで、効率的なワークフローを実現します。

現状の材料は VITA シェードから選べる「テンポラリー用」や、「カスタムトレイ用」、「模型用」ですが、「洗浄」「光重合」いらずで、シンプルなプリントを可能にする同製品は、ラボサイドはもちろん、チェアサイドでの使い勝手も良さそうで、注目度の高い3Dプリンターです。

⑱ スプリントレイ



今回、様々な企業が3Dプリンタを出品していましたが、中でも、特に注目度が高く感じたのが、スプリントレイの3Dプリンタです。2014年にアメリカで創業した歯科用3Dプリンタ専門会社の同社は、わずか10年程度でアメリカ3Dプリンタ市場シェア55%と半分以上を占めるようになりましたが、その強さの理由を今回IDSで感じることができました。

日本でもヨシダから販売開始となった同社3Dプリンタ『Pro2』は、35 μ mの精度で歪みの少ない造形ができ、今回イボクラの展示でも、デジタルデンチャーの「イボーション」システムで、デンチャーベース3Dプリント用に『Pro2』が採用されていました。

プラットフォームには、6個のフルアーチを同時にプリントできる広い造形エリアの標準キットと、1回のジョブで2種類の素材を使用してプリントできるデュオキットがあり、デジタルデンチャーでも「ベース材」「ティース材」を一度に印刷できる様子などは便利だなと感じます。



また、今回IDSで特に注目度が高かったのは、同社の超小型3Dプリンタの『Midas』です。同社特許取得済みのDPS技術により、従来の3Dプリンターよりも最大10倍粘度が高い材料をプリントでき、また、クラウンなら同時に3つ、ベニアなら同時に9つの修復物を、10分でプリントできます。Midas用の材料はQRコード付専用カプセルに入っていて、①QR読み込み、②Midas上部に設置、③プレスと、3ステップで簡単に造形物が完成します。DPS技術により、50%以上のセラミック入り高粘度レジンを短時間でプリントでき、プリント後は洗浄用スプレーでシュッシュッと吹いて、3分の光重合で、最終補綴物で利用できるセラミッククラウンが完成すると大きな注目を集めていました。チェアサイドで特に威力を発揮しそうな3Dプリンタです。今回のIDSでも「イボクラ」「3shape」「envista」「アラインテクノロジー」ほか名だたる企業が皆、同社3Dプリンターを展示しており、その「お墨付き」から品質の高さや、注目度が伺えます。日本の薬事承認がおりている機械・材料はまだ少ないですが、今後の日本市場においても同社や、同製品を輸入しているヨシダの動きに注目したいところです。

⑱ メラグ / ミーレ



1951年ドイツで創業された MELAG（メラグ）社は、医療用滅菌装置専門の製造会社で、「滅菌能力を極めること」をコンセプトとする同社製品は創業以来、ドイツ国内（ベルリン）で開発製造を実施し、世界トップクラスの品質と安全をお届けしています（日本では GC が販売）。

そんな、メラグで大きな注目を浴びたのは、同社新製品で「洗浄-注油-滅菌-文書化」の4機能を1台で可能な 4-in-1 の滅菌器『Care Clave 618』です。クラス B 滅菌器として利用できる他、CareBOX というアダプターBOX をつければ DAC ユニバーサルのように「洗浄-注油-滅菌」を最大8本のハンドピースで一気のできる滅菌器です。こんな滅菌器があれば、時間も器械も有効活用でき、良さそうだなと、多くの来場者の注目を集めていました。



1899年創業のドイツ大手家電メーカーMiele(ミーレ)は、白水貿易のウォッシャーディスインプエクター(以下、WD)が日本では有名ですが、冷蔵庫・掃除機・洗濯機 etc の家電全般を扱う総合家電メーカーです。

そんなミーレで注目を浴びたのは、新型 WD の2機種。右上写真の写真左の PWD8682 はガラス扉付のおしゃれなタイプでエコドライ方式。右の白い機種は PWD 8692 で熱風乾燥の DRY PLUS を備えたタイプです。デザインの刷新と共に、機械前面の大型液晶で操作性も UP するなど、様々な利点を有する新製品です。人不足の時代に器械ができることは器械に任せてみませんか？

⑳ クラデン、TePe

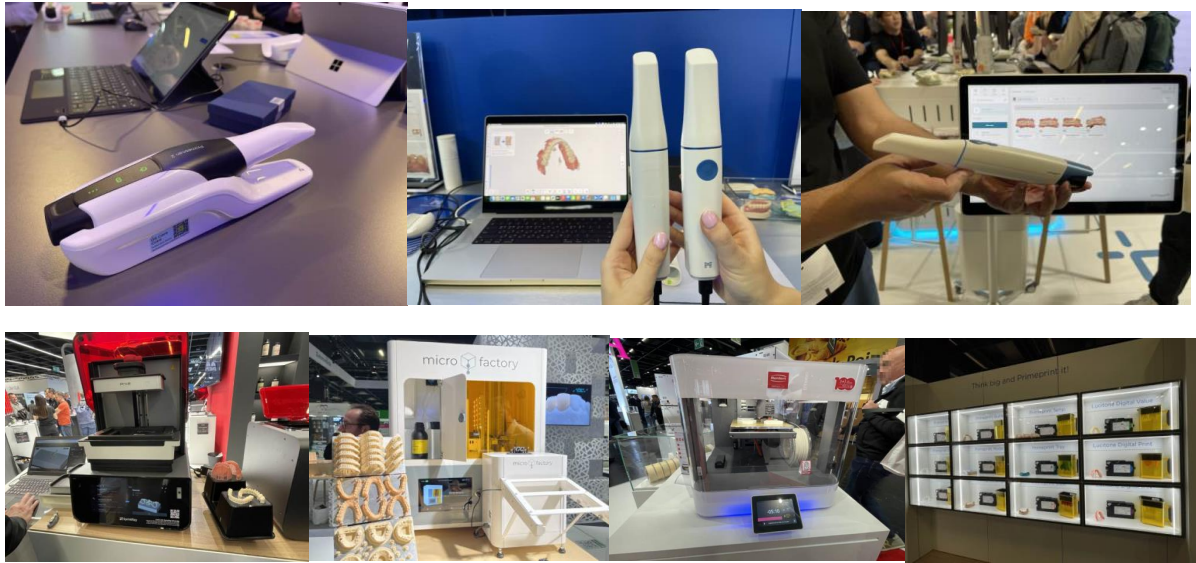


CURAPROX ブランドで有名なクラデンブースで注目を集めたのは、ROBOTIC 歯ブラシという文言と、その見た目のインパクトが強烈的な、手を動かさなくても全顎を磨けるという『SAMBA』です。「パッと見、印象トレー？」みたいな、トレー内面の舌側頬側面、及び、裏側の咬合面にあたる部分には「12,900 本もの柔らかい毛」がびっしり植毛されており、C の字から J の字に振動しながら移動することで、手を動かさなくても上顎 30 秒、下顎 30 秒の 60 秒で全顎を磨けてしまう ROBOTIC 歯ブラシです。自分で歯をしっかりと磨ける方は、自分で磨けば良いのですが、自分ではうまく磨けない方があると面白そうな歯ブラシだなと大きな注目を集めていました。また、CHX は殺菌/抗炎症に有効な成分ですが、ステイン原因にもなるとも言われることもあり、CHX 無で似た効果を発揮する Citrox やヒアルロン酸を配合した『Perio Plus ZERO』というオーラルリンスも発売し、こちらも注目を浴びていました。日本にない様々な製品が注目を集めるクラデンブースでした。



TePe ブースで注目を集めたのは、同社の新しいマウスウォッシュ及びマウススプレーです。スプレーはキシリトールとフッ素も配合で、唾液を刺激する成分も入っており、スプレー後は唾液も促され、ドライマウス予防にもなります。また、マウスウォッシュはフッ化ナトリウム 0.2% 配合で、唾液を刺激する成分、湿潤を保つ成分も入っています。両方とも香料無とマイルドアップル/ペパーミント味があり、両製品の味付を試したところ、とても爽やかな味で、かつ、唾液が出てくる感覚もあり、魅力的な製品でした。唾液は口腔健康にも様々な良い効果があると言われていますが、そんな製品に多くの方が注目し、お試し洗口等をしていました。欧州ではマウスウォッシュが一つのトレンドとなっているようですが、その様子を感じ取れた IDS でもありました。様々な世界の潮流を感じ取れるのも IDS の大きな一つの魅力です。

終わりに…



長くなりましたが、IDS 訪問レポートを最後までご覧頂き誠にありがとうございました。

今回の IDS では、世界の各社から最新の口腔内スキャナー、CAD/CAM、3D プリンター及びその材料が数多く出展されました。口腔内スキャナーも進化する一方、ミリングマシン、3D プリンターも様々な進化を遂げています。

特に 3D プリンターは、デンチャー素材を含め、様々な材料が各社から新しく出てきています。

日本では若手歯科技工士不足が問題で、このままのアナログ技工の推移ではデンチャー分野などは特に、物理的に製造できるキャパシティが足りなくなってしまう懸念もあり、現在でもデンチャーのよい歯科技工所を探されている先生もいます。様々な 3D プリンターなども登場しましたが、このような 3D プリンター等が歯科技工士の生産性向上に寄与し、デンチャー供給不足不安を解消してくれたら良いと感じる各社の展示でもありました。

また、各社の「ソフト」の発展も目覚ましく、AI やクラウドなどを活用して、様々なことが「より便利に、より快適に、より簡便に」できるようになってきています。



また、歯面を侵襲少なく、かつ、効率的にクリーニングできるエアーポリッシャー製品も、各社から様々な新製品が登場しました。「効率的に歯科衛生士の大切な時間を活用できる」という需要があつて、各社が新製品を投入している様子を見ると、まだ導入されていない先生は導入検討をしても良いのではないかなと思います。人材難時代には「人は人にしかできない仕事に集中」する環境を整えることが、今まで以上に大切になってくる時代が、来るかと思われます。



「人の時間の有効活用」という意味では、自動的に様々なことをしてくれる滅菌器や、ウッシャー・ディスプレイクターもその助けになってくれるかもしれません。

まだまだ他にも魅力的な製品はありましたが、誌面の都合上、本誌はここまでとさせていただきます（SONY が出展など新しい動きもあったので、今後、別途シラネフェイスブックページで他企業も一部お伝えしようと思います）。

世界で最新の機械/材料が発表される場のレポートのため、日本の薬事は未承認のものや、そもそも日本市場には入ってこないものもあるかと思いますが、世界最新の「歯科の潮流」を本レポートで感じて頂ければ幸いです。

次回の IDS は 2027 年 3 月 16 日から 20 日まで開催されます。今回のレポートで興味を持って頂いた方は、実際に訪問すると、とても刺激的な場所なので、是非一度訪問されてみてください。

株式会社シラネは、歯科医療を支える歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士、歯科助手の皆様へのお役立ちを通じて、「人々の笑顔、健康」に寄与することを目指しております。皆様様の毎日の治療が、より安全安心に進められますよう、最新の歯科機械・器材の情報伝達や、セミナー情報等の発信に努めており、本レポートの情報発信もその一助となれば幸いです。

気になる製品等がございましたら、お気軽に株式会社シラネ営業マンへお声掛けください。まだ日本での販売有無や、発売予定日なども未定の製品がほとんどですが、興味頂いている製品が日本市場へ登場する際には一早く情報をお届けできます。なお一層、器材のプロとして皆様様のご信頼が得られますよう、日々精進・研鑽をつんでいく所存ですので、引き続きのご愛顧、お引き立てをどうぞ宜しくお願い致します。

以 上

（取材・編集） 株式会社シラネ 代表取締役社長 榊原利一郎